

映画に学ぶ言語と文化

鈴木 健吾



皆さんは本学図書館の主題別書誌データベースを利用したことがあるでしょうか。図書館のホームページには言語や文学、就職関連等の様々な分野で独自に作成されたデータベースがあります。特定のテーマについての資料をお探しの際には非常に有用なページとなっていますので、ぜひ一度チェックしてみてください。数あるデータベースの中から、今回は「あの映画・あの言葉 スクリプトで外国語を学ぶために」を紹介したいと思います。

このデータベースが他と異なる点は、学生と図書館が共同で作成したことです。映画で語学を学べるようにと図書館にリクエストされた本学の卒業生、水口尚子さんと藪田倫代さんのご協力によって作成されたもので、外国映画のスクリプトや映画関連図書の検索を行うことができます。10年前の京都新聞にも取り上げられており、およそ200本の映画がデータベース化されました。邦題、原題のどちらからでも映画の検索が可能で、水口さんによる解説も映画を見

つけるきっかけになります。単純にエンターテインメントとしても楽しめる映画ですが、日常会話や地域特有の言い回しといった言語を学ぶ上でも役立てることができます。映画のスクリプトからは外国語に限らず、字幕翻訳者の工夫に満ちた日本語訳を読むことで日本語の豊富な表現にも気づかされます。また言語学習に留まらず、舞台となった場所の歴史や文化といった映画の背景も私達外国語大学の学生にとって重要な知識になると思います。そしてアイウエオ順に並べられた本学図書館所蔵のスクリプトのリストには映画の公開年も表記されており、製作された当時から考察する上で参考になります。

ひとつの書籍からは幅広い知識を吸収することができますが、その書籍に出会う上で便利なツールとなるのがデータベースです。ご自宅のパソコンからでも簡単にアクセスできるので、図書館を利用する際に活用してみてください。

すずき けんご（英米語学科4年次生）

